

《K S Fチェーン商品紹介》



株式会社 フクトク

足場吊りチェーン 革命 !!

- 1、安全性
- 2、耐久性
- 3、作業効率性
- 4、検収効率性

以上の4点を画期的に ↑ させるチェーンが出来上がりました！！

『製品』

種類	重量(1本当たり)	強度(シングル掛け)
1.KSFチェーン 1.0m	1.16kg	430kgf
2.KSFチェーン 1.5m	1.62kg	430kgf
3.KSFチェーン 2.0m	2.06kg	430kgf
4.KSFチェーン 2.5m	2.44kg	430kgf
5.KSFチェーン 3.0m	2.95kg	430kgf
6.KSFチェーン 3.5m	3.41kg	430kgf

『通常のチェーンとの比較』

《現場での施工》

a、通常チェーンの場合



吊金具にループ掛けの施工



※八の字対策の指摘事項になりやすい！

b、KSFチェーンの場合



吊金具にシングル掛けの施工



※返り止めもついているため、安全！

※ 写真の通り、通常のチェーンは ループ掛けが必要となるが、

KSFチェーンでは、**シングル掛け**が可能となる。

結果、、、作業効率も上がる！！

《現場への納品時》

a、通常チェーンの場合



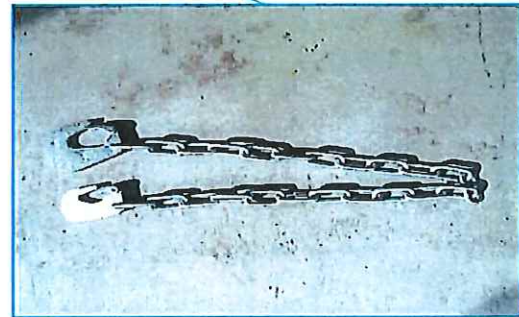
集積袋(PP袋)に詰めて現場へ届く。
※チェーンを取出す時に絡まって出しづらい！
※チェーンの残りの数がすぐに把握できない！

b、KSFチェーンの場合

KSFチェーン全景



KSFチェーンはトライアングル金具に引掛けた形で現場へ届く。



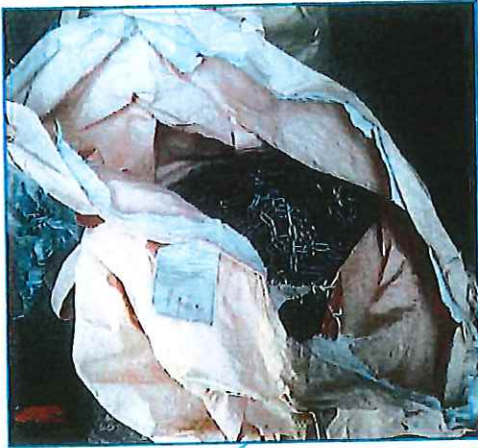
トライアングル金具

※ 写真の通り、通常のチェーンに比べて、種類及び数量の確認がしやすい！

結果、、、作業効率も上がる！！

《現場への返却時》

a、通常チェーンの場合



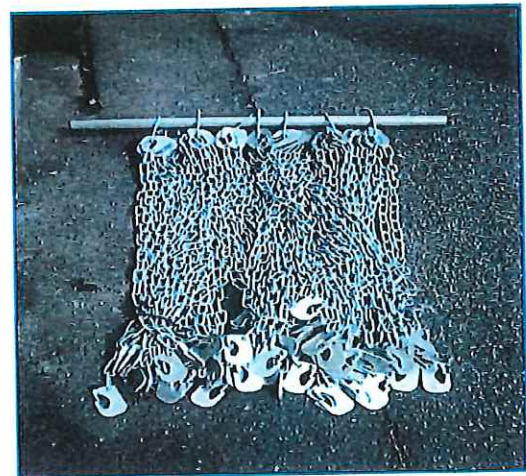
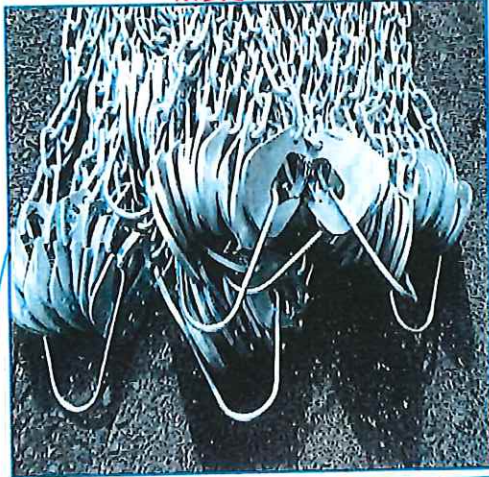
集積袋(トン袋)にて、返却される。※長さも何種類か混ざって返却される場合が多い
※チェーンの検収に非常に時間がかかる！

b、KSFチェーンの場合

単管下地+トライアングル金具を使用して、返却される。

※チェーンの検収に時間がかからない！

※長さの判別も明確である！



単管下地+トライアングル金具を使用して、返却される。

※チェーンの検収に時間がかからない！

※長さの判別も明確である！

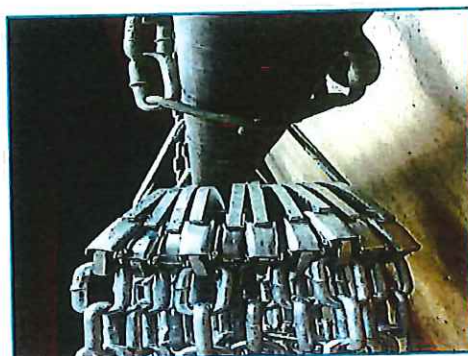
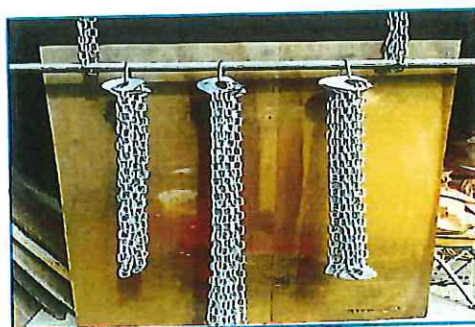
※ 写真の通り、通常のチェーンに比べて、種類及び数量の確認がしやすい！

結果、、、作業効率も上がる！！

※ 返却時の お客様との数量に関するトラブルも軽減される！

《使用風景》

a.ヤード風景

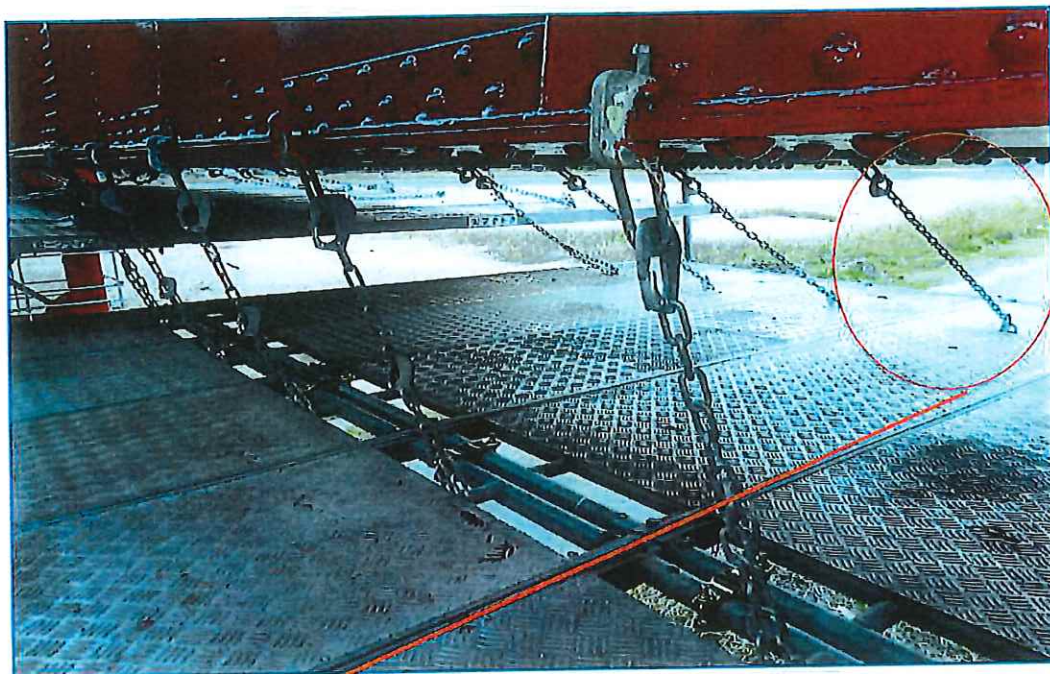


※単管下地にぶら下げて、整理できる！

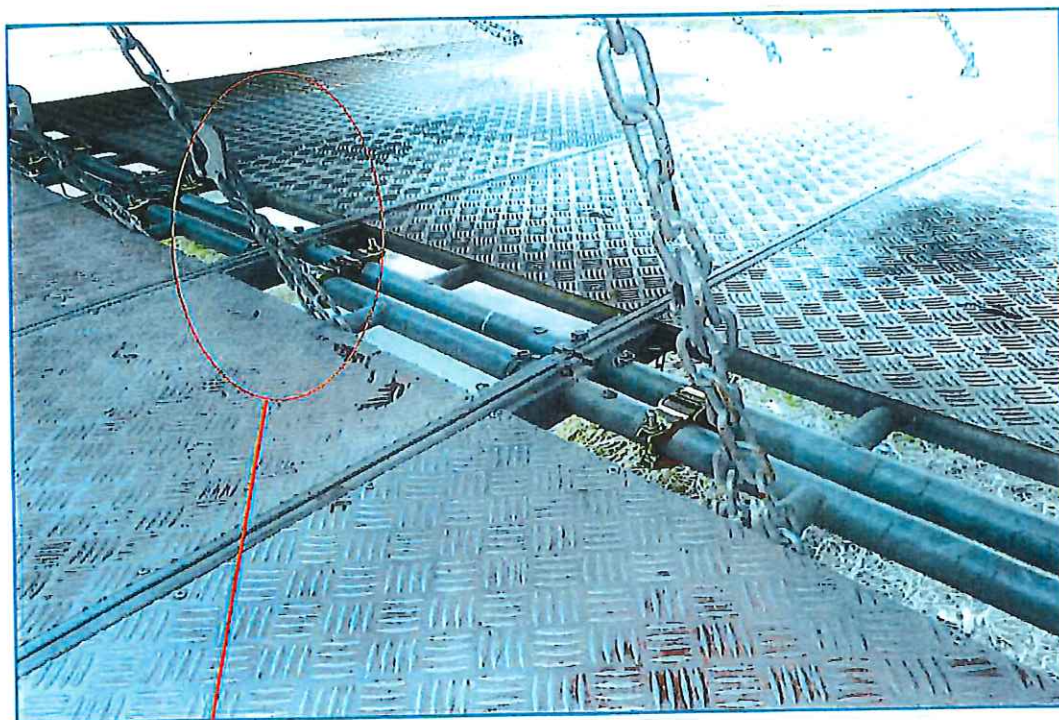
※ 写真の通り、無駄なスペースも取らず、種類・数量も明確である！

結果、、、作業効率も上がる！！

b、現場の風景



※両フック、シングル掛けが可能！

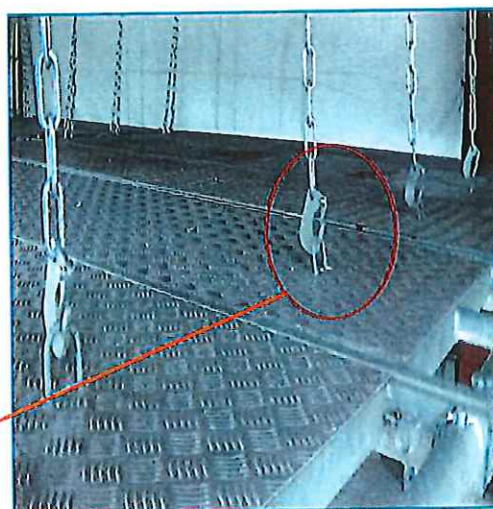
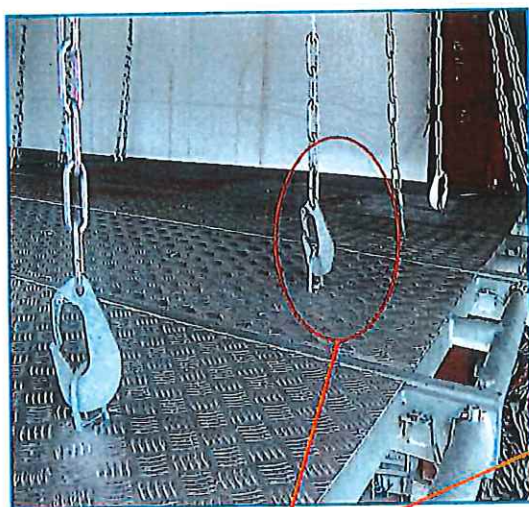


※チェーンのはずれ止め養生テープも必要ありません！



※ 足場組立時、(吊金具+チェーン)の先行設置が可能！

※ 足場解体時、(吊金具+チェーン)の最終解体が可能！



※ 大・小 フック共 SKパネルシングル掛けが可能！

※ 写真の通り、チェーンはずれの危険性も無く安全！

※ はずれ止め養生テープの必要もありません！

※ 大・小のフック共、 SKパネルに対してシングル掛けが可能！

KSFチェーン(強力シングルフックチェーン)の使用について 〔社〕仮設工業会認定品

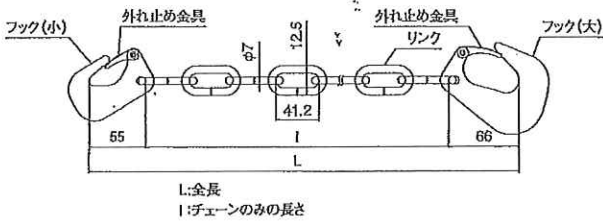
KSFチェーン(強力シングルフックチェーン)をご使用いただき誠に有難うございます。

本製品はつり棚足場に吊り材として使用する専用の吊りチェーンです。誤った取り扱いが事故の原因になりますので、次の事項を守っていただき、正しく安全にご使用くださいますようお願いいたします。

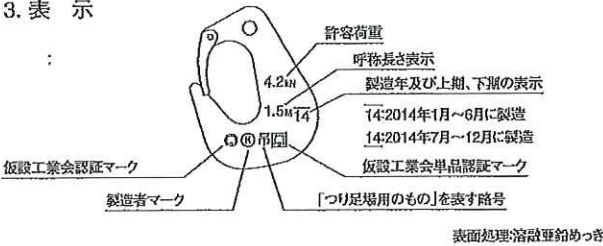
1. 用途

KSFチェーンは建設工事現場において、高所作業を行うために組み立てられた吊り作業床、作業通路を主目的とする仮設構造物に使用するためのものです。玉掛け作業には絶対に使用しないでください。

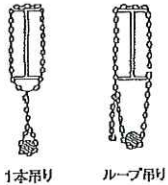
2. 各部の名称



3. 表示



4. 許容荷重



- ・KSFチェーン1本当たりの許容荷重は4.2kN(430kgf)です。
- ・KSFチェーンは必ず許容荷重以下で使用してください。

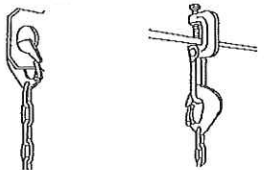
5. 設置場所、設置方法等

KSFチェーンは以下の箇所に取り付けます。

- (1) つり棚足場のつり元に設置している吊りピース。
- (2) つりチェーン用クランプ。
- (3) つり棚足場のつりチェーン取り付け部(鋼管、吊り金具等)。

(4) フックを使用して取付ける場合

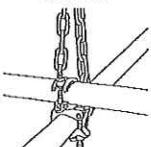
吊りピースの場合 吊りチェーン用クランプの場合



- ・フックを掛け、外れ止めが機能していることを確認すること。

(5) ループ状にして取り付ける場合

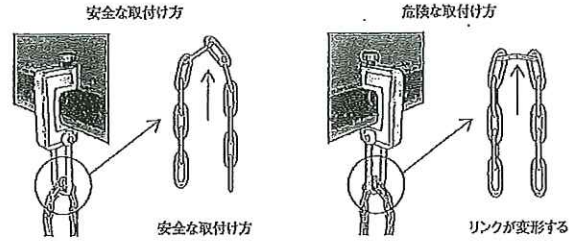
鋼管の場合



- ・リンクが変形しないように掛けること。
- ・フックをリンクに対し、確実に掛けること。

6. 使用基準

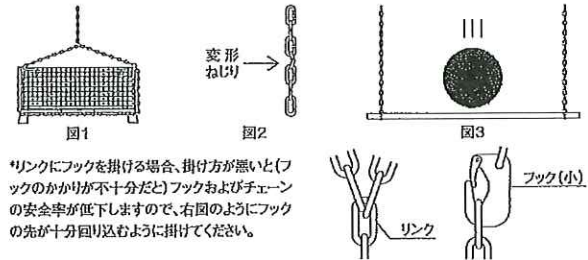
- (1) KSFチェーンの許容荷重は、1本吊り、ループ吊りともに4.2kN以下とすること。
- (2) 原則として、KSFチェーンのフック(大)は、吊り部に対し直接掛けとし、フック(小)はループ掛けとすること。ただし、安全性を十分に確認した上で問題ない場合においては、この限りではない。
- (3) KSFチェーンは、フックの外れ止め金具が確実に機能していることを確認すること。
- (4) KSFチェーンをループ吊りで使用する場合にはリンクが変形しにくい掛け方で使用すること。



- (5) KSFチェーンをループ吊りで使用する場合には、フックをリンクに対し確実に取り付けること。
- (6) KSFチェーンを形鋼に取り付ける場合は、原則として次のとおり。
 - (A) 形鋼に吊りピースが取り付けられている場合は、吊りピースを使用すること。
 - (B) 吊りピースが無い場合、あるいは吊りピースを使用するとチェーンリンクと形鋼が接触する場合は、つりチェーン用クランプを使用すること。

7. 禁止事項

- (1) KSFチェーンは足場吊り材以外の目的には使用しないこと。(図1)
- (2) KSFチェーンは変形及びびねじれた状態で使用しないこと。(図2)
- (3) KSFチェーンに衝撃荷重を加えないこと。(図3)
- (4) KSFチェーンが変形し、強度の低下をきたすような取付けはしないこと。



*リンクにフックを掛ける場合、掛け方が悪いと(フックのかかりが不十分など)フックおよびチェーンの安全率が低下しますので、右図のようにフックの先が十分回り込むように掛けてください。

8. 保守管理等

- (1) KSFチェーンは使用前に全体および次の各部を点検し、異常のないことを確認すること。
 - ・リンク、フック、外れ止め金具における変形等の有無。
 - ・外れ止め金具の作動異常の有無。
 - ・リンクの溶接異常の有無。
- (2) KSFチェーンを保管、管理する場合は「経年仮設機材の管理指針」によるものとし、また、以下によること。
 - ・チェーンの伸びが3%以上のものは廃棄すること。
 - ・保管する場合には高温多湿を避け、さびの発生に注意すること。

9. 廃棄基準

以下のような場合、廃棄すること。

- (1) リンクの変形が線径以上ある場合。
- (2) リンクの直径が7mm未満になった場合。

